

静岡労働局発表
平成28年7月29日(金)

担 当	厚生労働省静岡労働局職業安定部
	職業安定課長 水口 正明
	課長補佐 渡邊 祐二
	電話 054-271-9952

平成27年度ハローワークのマッチング機能に関する業務の 総合評価結果について

静岡労働局(局長 野村栄一)では、平成27年度のハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価を取りまとめました。結果は下記のとおりです。

1 総合評価結果

- (1) 非常に良好な成果(類型1)
1所: 富士宮所
- (2) 良好な成果(類型2)
5所: 静岡所、浜松所、清水所、三島所、島田所
- (3) 標準的な成果(類型3)
6所: 沼津所、掛川所、磐田所、富士所、下田所、焼津所
- (4) 成果向上のため計画的な取組が必要(類型4)
なし

【評価方法】

- 1. 平成27年度の指標や項目の実績をポイント化し、労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価しております。
- 2. 評価に当たっては、ハローワークごとに4段階で評価しており、評価の仕方は、グループ内のポイントの平均値を基準として、
平均値以上を「類型1(非常に良好な成果)」、「類型2(良好な成果)」と、平均値未満を「類型3(標準的な評価)」、「類型4(成果向上のため計画的な取組が必要)」の2段階に分けた上で、平均値以上であって満点以上のものを「類型1」、それ以外を「類型2」とし、平均値未満であって、平均値の80%(大規模グループは85%、最大規模グループは90%)を下回るものを「類型4」、それ以外を「類型3」としています。

2 ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価について

平成27年度よりハローワークの機能強化のため、安定所ごとに期間当初に職業紹介業務の就職件数、求人充足件数、雇用保険受給者の早期就職件数等の目標値を設定し、事業計画の策定や実施状況の把握・分析を通じて必要な措置を講じつつ、期間終了後に目標達成状況や職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組も対象として総合的に評価し、必要な業務改善を図ることを目的として実施しているものです。【別添1参照】

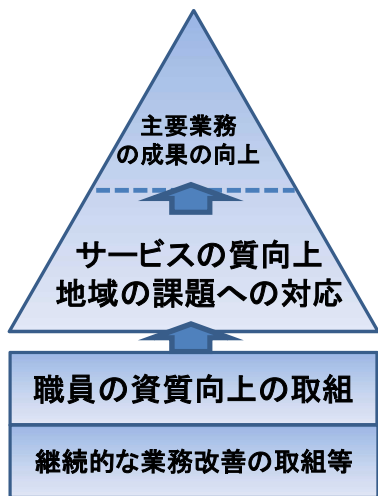
なお、ハローワークごとに、①重点的に実施したこと、②サービス改善・業務改善を図ったこと、③今後のサービス・業務改善の取組について等を記載した「就職支援業務報告」を作成しております。【別添2参照】

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）【別添1】


ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組(就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度中に、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。


重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
 - ①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導(評価期間終了後)
 - ③好事例は全国展開(評価期間終了後)
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

総合評価の構成

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択

全ハローワークで共通する評価 (全所必須指標)

(1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職件数
- 求人充足件数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 満足度調査
- 紹介成功率

ハローワークごとの重点的な取組の評価 (所重点指標・所重点項目)

(1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 障害者の就職件数
- 正社員求人数
- 生活保護受給者等の就職件数 など

(2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況を評価

- 職員による事業所訪問の実施
- 求職者担当制の実施
- 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講
- 好事例を導入した業務改善を実施 など

総合評価の方法

総合評価は年度単位で実施する。年度終了後に、ハローワークごとに、年度合計の指標・項目の実績をポイント化し、それを合算して、評価する。

①年度当初に定めた目標への達成状況を基に、指標ごとに、予め定められたポイント数の範囲内で、ポイントを付与する。

A指標の目標達成率



A指標のポイント数



〇〇ハローワークの
A指標のポイント

※目標達成状況によるポイントは、所重点項目を除く各指標(主要指標・補助指標・所重点指標)について計算。

②業務実績が例年より上回った場合に、ポイントを付与する。

※主要指標について、過去3年間の実績と比較し、過去3年間の平均を上回る場合にポイントを付与。

③所重点項目の実施状況を基に、ポイントを付与する。

※中長期的な観点から必要となる職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組を実施した場合にポイントを付与。

①～③のポイントを合計し、ハローワークごとに、総ポイント数を計算する。

類似するハローワークからなるグループ内で、総ポイント数等を比較し、評価する。

※労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分類。

※評価は本省で実施し、評価結果を労働政策審議会に報告。

※評価結果は、ハローワークにおいても、実績値、業務改善事項、総合評価結果(4段階)等をまとめて公表。

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

【就職件数を増やすための取り組み】

当所では、就職件数の目標を最重要と考え、特に重点的に取り組みました。日頃の職業相談の内容の充実を重視し、相談時間をかけても本人の希望条件に適合する求人情報の提供、応募書類の添削、面接アドバイス、適職の診断等、紹介に結びつく内容の濃い職業相談を実施しました。また、窓口誘導などの声掛け、積極的な求職者担当制の推進・マッチングの実施に取り組みました。

求職者の減少傾向の中で、新規求職者の取り込みの為に、ミニ選考会・管理選考会を広く周知し積極的に実施しました。特に山梨県鯉沢所との県間での広域労働支援にかかる取り組みとして合同就職面接会を実施し、参加者 106 名（管内 74 名）と多数の参加をいただき、就職者 12 名（管内 6 名）となりました。参加した求職者から 28 年度の継続実施の声もあり継続実施を予定しています。地方自治体との連携強化を図り、HW 富士宮・富士・富士宮市・富士市による若年者を主にした合同就職面接会を「健康産業合同企業面接会」として開催し、参加企業 15 社、参加求職者 46 名、採用者 7 名の結果となりました。

正社員就職についてはフリーターの正社員就職の増加に向けて、正社員就職への就職意欲の喚起、就職スキルの向上のための指導、正社員求人量の確保、良質求人確保のために求人条件緩和の指導、特に非正規求人から正社員求人への転換のため求人者への働きかけの強化を行いました。充足件数の増加を図るために、求人充足会議による的確なマッチング対象求人の選定、求人者担当制によるマッチング等の積極的支援、ハローワーク主導の選考会の実施、量的求人確保のための求人開拓の実施、画像情報の積極的収集と的確な求職者への提供を行いました。

雇用保険受給者の早期再就職の促進については、就職緊要度の正確な把握、雇用保険説明会で再就職手当が有利な制度であることの説明の強化と、認定日に求職者個々のデータに合わせた同制度の説明、給付制限中の受給者全員への求人情報の提供、並びに就職支援セミナーの受講勧奨に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・求職者担当制により選定した求職者へのマッチング、情報提供、職業相談の来所勧奨により求職者の呼び込み及び紹介件数の増加を図りました。
- ・雇用保険受給者の認定日相談について、全員相談を実施し、特に給付制限のかかる方には、給付制限中の来所時職業相談では全員への求人情報検索、提供を行いました。

（3）今後のサービス・業務改善のとりくみについて

- ・ハローワークの相談窓口への積極的誘導を図ります。窓口誘導の掲示物の工夫や受付や各職員が相談窓口への誘導を意識して今以上に求職者への声掛け等を行います。

- ・求職者との相談では更にプラス1サービスを意識して、採用に至らなかった場合にも不採用理由を分析して履歴書の添削や面接指導を行い、求職者との信頼関係を築き、ハローワークの利用促進を図ってまいります。
- ・就職面接会を27年度以上に積極的に実施し求職者・求人者へのマッチングサービスを強化します。

(4) その他業務運営についての分析

求職者は減少傾向にあるますが、それ以上に紹介件数の減少率が大きくなっています。就職数の増加には紹介件数を増加させていくことが重要と捉え更なる職員相談員の職業相談スキルの向上、求職者担当制・求人者担当制・マッチングの強化に努めて、ハローワーク相談窓口への来所者の呼び込みと利用者数の増加を図ってまいります。

2 総合評価 (※)

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	求人充足数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	フリーターの 就職件数	正社員求人数	生保受給者 就職件数
実績	2,043件	1,831件	654件	96.3%	96.5%	26.3%	417件	4,076人	76件
目標	2,100件	1,860件	520件	90%以上	90%以上	21.9%	290件	4,048人	38件
目標達成率	97%	98%	126%	—	—	120%	144%	93%	200%
(参考)過去3年度平均	2,170件	1,830件	567件						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク静岡 就職支援業務報告（平成 27 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要指標の一つである雇用保険受給者の早期再就職の促進を重点課題とし、特に給付制限期間中の受給者との積極的な職業相談・職業紹介が重要と考え、給付制限期間中の紹介件数を月 100 件以上とする目標を独自に設定しました。給付制限対象者には、初回認定日の相談時に計画相談日（認定日応当日）を設定させていただいたうえで、職業紹介ができるようマッチングを実施させていただきました。その結果、1,239 件の紹介を行うことが出来ました。こうした取り組みと給付制限対象者以外の方への認定日等を活用した雇用保険受給者の早期再就職促進の取り組みの結果、就職件数 2,104 件という実績を上げることができました。

また、当所は管内自治体との一体的実施事業に基づき生活保護受給者等の就職支援も継続して実施してきたため、本事業の就職促進にかかる目標達成も重点課題の一つと考え重点的に進めることとし、定期的に打ち合わせ会議の開催等をしている福祉事務所との連携により、一体的実施施設のジョブサポートコーナーにおいて、生活保護ケースワーカー、生活保護就労支援員と就職支援ナビゲーターが協力し、ワンストップで生活保護受給者等に対するきめ細かな相談を実施することが出来ました。

こうした自治体と連携した就労支援の強化により、就職件数 400 件、就職率 87.9%という実績につながりました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所の利用者アンケートにおいて、庁舎内のポスター等の見やすい展示、配布物等のわかりやすい陳列に対するご意見を多くいただきましたことから、毎月部門管理者による点検を実施する際にチェックすべき項目と担当チェックエリアを明確に定め、利用者の皆様が見やすくわかりやすい展示、陳列等に取り組むこととし、特に求人情報やミニ面接会、職業訓練、各種制度の案内等のマッチング施策の効果的な周知に努めました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

雇用情勢が好転している現下において喫緊の課題となっています正社員就職の促進のため、近隣所と合同で経験不問の正社員求人を対象とした面接会を開催しましたが、参加求職者が目標数に達しませんでした。正社員就職と人手不足分野の就職促進は今後においても引き続き取り組むべき課題でありますことから、平成 28 年度においては周知方法等を工夫し多数の方に参加いただける面接会となるよう、効果的な開催に向けた実施方策を検討いたします。

（4）その他業務運営についての分析等

所管内の産業別新規求人状況は、卸売・小売業、医療・福祉業及びサービス業の 3 分野で全体の 6 割を占めているのに対し、製造業は 5.4%と少なく、正社員求人も 5 割程度となっているため、管内の自治体や商工会議所等と連携し正社員求人の開拓に取り組みました。来年度以降もこうした管内状況は続くと思われまますので、引き続き正社員求人の開拓に取り組んでまいります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数(受 理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの支 援による正 社員就職件 数	公的職業訓 練の終了3 か月後の就 職件数	マザーズハロ ーワーク事業 における重点 支援対象者 の就職率	正社員 就職件数	介護・看護 保育分野の 就職件数
実績	5,555件	6,137件	2,104件	91.5%	99.0%	18.4%	400件	363件	1,605件	141件	92.5%	2,869件	653件
目標	6,030件	7,150件	1,850件	90%以上	90%以上	16.9%	270件	300件	1,235件	86件	87.5%	3,030件	702件
目標達成率	92%	86%	114%件	—	—	109%	148%	121%	130%	164%	106%	95%	93%
(参考)過去3年度平均	6,174件	7,494件	1,930件										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク浜松 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数(常用:年間9,970件)、充足件数(常用:年間9,900件)、雇用保険受給者の早期再就職件数(年間3,230件)の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、緊要度、ハローワークへの期待度の高い求職者及び職業相談時において、早期就職が見込まれる求職者を対象に、紹介窓口における求人の提案、相談連絡、ピックアップ求人の提案などの積極的な求人情報の提供や、所内でのミニ会社説明会・面接会などの取組を行いました。

積極的な求人情報の提供等により、対象とした求職者については、紹介 3,691 件・採用 1,026 件・紹介成功率 27.8%と高い実績を残すことができました。

また、所内のミニ会社説明会には 111 社が参加し、256 人が面談し、53 名の応募者があり、28 名の方が採用されました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

雇用保険受給者に対しては、早期の再就職を喚起するために、失業認定日(4週間に1度)を活用した求人情報の認定窓口提供を行っています。平成27年度は初回認定日の方 1,495 名に対して 5,046 件、2回目及び3回目以降の認定日の方 1,306 名に対して 2,632 件の求人情報の提供を行いました。その結果、220 件の紹介に結びつきました。

また、失業給付の手続きや失業認定日における、待ち時間の有効活用のため、平成27年10月末に所内レイアウトを変更し、庁舎2階に求人検索機を7台移設し、待ち時間を利用し求人検索ができるようにしました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

- ・介護職への関心を持っていただくよう、毎月、介護関係のセミナーを開催していますが、「介護職DVD視聴会」には、求職者 248 名が参加しました。また、介護職DVD視聴会終了後に会社説明会を開催し、48 名が参加しました。「認知症サポーター養成講座」については、181 名が参加しました。
- ・高齢者を対象とした「55歳以上限定！就職支援セミナー」(定員 30 名)は奇数月に開催しており、267 名が参加しました。
- ・わかものハローワークでは、「職業適性検査&若年者就職支援セミナー」を 50 回開催し職業適性検査 306 名、就職支援セミナー293 名参加がありました。毎回、参加者が多いことから、引き続き内容を充実させ開催していきます。

（4）その他業務運営についての分析等

平成27年度の新規求職者数は、35,400 人と前年度比 2.8%の減少、就職件数は、9,430 件と同じく 6.3%の減少となっていることから、さらに積極的マッチングに努めていくこととしています。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果

	就職件数	求人充足数 (受理地)	雇用保険受給者早期 再就職者数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	生活保護受給者 等の就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポの 支援による就職 件数	正規雇用に関わ りつつフリーター 等の件数
実績	9,430件	9,393件	3,528件	96.8%	94.3%	20.7%	391件	609件	1,550件	1,535件
目標	9,970件	9,900件	3,230件	90%以上	90%以上	19.2%	425件	622件	1,370件	1,400件
目標達成率	95%	95%	109%	—	—	108%	92%	98%	113%	109%
(参考)過去3年度平均	10,072件	10,038件	3,310件							

	マザーズHW事業 による重点支援対 象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数	建設分野の就職 件数	高齢者総合支援窓口でのチ ーム支援を受けた者の就職率
実績	91.2%	32,009人	5,179件	305件	83.4%
目標	87.5%	31,966人	5,420件	280件	73.8%
目標達成率	104%	100%	96%	109%	113%
(参考)過去3年度平均				—	

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク清水 就職支援業務報告（平成 27 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数、充足件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求職者及び求人者のニーズの的確な把握と記録、マッチングの強化や応募に係るサービス提供の強化などの取組を行いました。

特に、採用選考での書類選考が増える中、応募書類（履歴書、職務経歴書等）の準備・作成について、初めて紹介を受ける求職者へはパンフレットを配付し、助言や添削を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ① 進捗管理のために作成している日報に基づく就職件数集計表について、1カ月単位で更新したものを休憩室付近へ掲示していたが、日々更新したものを職業相談受付箱付近へ掲示を行うように見直し、最新の状況が容易に把握・確認が出来るようにしました。
- ② 雇用保険説明会の受付方法を雇用保険受給者からの申し出に変更し、プライバシーに配慮した受付方法へ改善すると共に、受付場所を説明会会場へ変更し、雇用保険説明会受付の円滑化と総合受付付近の混雑の解消を図ることが出来ました。
- ③ 平日昼間の通常時間帯の職業相談窓口の体制を強化するため、夜間開庁時間帯の見直しについて地方自治体（静岡市）にも意向を確認し、平成 28 年 1 月からは夜間開庁終了時刻を 19 時から 18 時に変更し、平日昼間の通常時間帯の職業相談窓口の体制を強化することとしました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

- ① 態様別以外の求職者担当者制による個別支援について、その取組は個人に委ねる部分が大きく組織的な取組が弱い状況にあり、より実効性が高まるものとなるよう実態確認と課題把握を行い、組織的継続的実施体制の確保に向けて検討することとします。
- ② 毎週火曜日、求人・職業紹介両部門の担当者各 2 人により開催している求人充足会議の場を活用して、より 1 件へ取組の拘りを意識付けするために、就職件数、充足件数を上げる為のアイデアを求人・職業紹介両部門から出し合うこととします。

（4）その他業務運営についての分析等

業務運営に影響がある外部要因として、特記するものではありませんでした。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

(1) 意識した就職支援の取組

目標指標、重点指標・項目により職業紹介業務に係る目標値を全職員が確認・認識し、直接的・間接的に関わる所掌業務の一つ一つを丁寧に取り組むことを意識しました。

(2) 求人充足会議により求人・職業紹介両部門での事案検討、マッチングの推進

毎週火曜日、求人・職業紹介両部門の担当者各2人により開催し、対象求人の検討状況、各部門からの意見等を記録し、出席者以外の関係職員とも情報共有、職業相談・マッチングに活用しました。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	求人充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	生活保護受給者 等の就職件数	障害者の 就職件数	正社員求人数	新規高卒者 就職内定率
実績	2,827件	2,794件	1,062件	100%	97.1%	21.3%	160件	188件	7,882人	100%
目標	3,000件	2,880件	1,040件	90%以上	90%以上	19.0%	110件	165件	7,758人	100%
目標達成率	94%	97%	102%	—	—	112%	145%	114%	102%	100%
(参考)過去3年度平均	3,005件	2,853件	1,038件							

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク三島 就職支援業務報告（平成 27 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、正社員就職件数及び正社員求人数の目標を達成することが最重要と考え、正社員求人限定としている充足可能性基準に基づくマッチング及び求人者支援員の求職者選定による計画紹介を合わせて 106 件実施しました。

正社員求人の獲得については、以前に正社員求人の申込がある事業所や正社員数が多い事業所等を対象として、求人係は月 1～2 回、求人者支援員は月 4 回程度の事業所訪問を行い、さらに、事業所が提出した求人申込書の内容が「フルタイム」で「正社員以外」であった場合に、正社員求人としにくい理由（社内規定等により決まっている等）「景気回復や業績改善により正社員採用が可能となっていないか」「社員の年齢構成に不安や問題はないか」等、事業所の現状を確認の上、正社員求人のメリット等について説明し、変更指導を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

お待ちいただく時間をいかに少なくするか再検討を実施し、ハローワーク利用者へのサービスの徹底を指示しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

「窓口」や「ご意見箱」へお寄せいただく、ご意見や苦情を「ありがたくいただき」、「日々の業務に反映する」という姿勢を継続していくとともに、「耳の痛いご意見」を大切にすることが業務改善にはなくてはならないものであるとの認識を持ち業務遂行します。

さらに、満足度調査の実施にあたりサービスについて再認識を図り、適切な個人情報の取り扱いを徹底します。

（4）その他業務運営についての分析等

平成 27 年 10 月 13 日に人手不足産業である観光業を主体とする熱海管内の雇用改善を目標とし、「熱海市雇用対策協定」を締結しました。

それに基づき、労働市場圏を共有する沼津所と神奈川局 3 所（小田原所、平塚所、松田所）と就職面接会を開催しました。

内容としては、平成 27 年 11 月 12 日に熱海後樂園ホテルにて「熱海でお仕事合同就職面接会」を実施し、平成 28 年 2 月 5 日には小田原市民会館にて「西湘地区就職面接会」を実施しました。

今回の面接会の結果から熱海地域を中心とした求職者の年齢層の分布を分析すると中高年齢者が極めて多いことが浮き彫りとなったため、今後、管内各地方自治体、沼津所及び神奈川県 3 所と連携を密にし、雇用改善を図っていきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

平成 26 年 9 月より熱海市の雇用改善を目標として、全国 101 所のハローワークに対し「熱海でお仕事求人情報」を発送しています。職種は飲食物調理及び接客・給仕で、求人区分はフルタイム、就業場所は熱海市、産業分類は宿泊業、日本全国のハローワークからの求人を対象として情報誌を作成しています。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	求人充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	生活保護受給者等 の就職件数	障害者の就職 件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける重点支援 対象者の就職 率	正社員就職件 数	正社員求人数
実績	4,661件	3,947件	1,384件	90.8%	95.3%	24.0%	185件	237件	89.7%	2,132件	9,854人
目標	4,980件	4,100件	1,240件	90%以上	90%以上	20.5%	76件	235件	87.5%	2,160件	9,539人
目標達成率	94%	96%	112%	—	—	117%	243%	101%	103%	99%	103%
(参考)過去3年度平均	5,172件	4,450件	1,289件								

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク島田 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数及び雇用保険受給者の早期就職件数の目標達成のために、求職者担当者制、能動的マッチング、認定日及び給付制限中の認定当日の全員相談に重点的に取り組みました。求職者担当者制については、支援対象者 233 人、就職件数 151 件、就職率 64.8%、能動的マッチングについては、マッチング件数 1,672 件に対し、紹介件数 559 件、就職件数 186 件、新規求職登録時及び雇用保険認定日には受給者全員に「フレッシュ求人情報」を配布し、窓口相談への誘導を図り、ナビゲーターによる支援や担当者制による支援を行った結果、早期就職件数は 1,032 件となりました。

また、求人者支援員が事業所訪問等により開拓してきた求人を中心として、求人担当者制による能動的なマッチング及び情報提供等を実施したことにより、充足数は 2,427 人となりました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークのサービスメニュー等を周知するため、ハローワーク島田のホームページに「各種セミナー・相談会のご案内」や「フレッシュ求人情報」を掲載しました。また、島田信用金庫、大井川鐵道(株)の協力の下、管内信用金庫の本・支店及び鉄道の有人駅に、ハローワーク島田への誘導チラシや「フレッシュ求人情報」を配架し、ハローワークの利用を促す取り組みを行いました。

雇用保険受給者の中には、自己就職する者も多いため、紹介就職につなげるよう受給者全員に認定日に「フレッシュ求人情報」を配布しました。

正社員就職の促進を目的とし、学歴・経験・免許・資格不問の正社員求人情報を作成し、正社員希望者や若年者を中心に配布しました。

「正社員転換・処遇改善キャンペーン」として、島田所主催による「企業雇用管理セミナー」を開催し、正社員転換・処遇改善・人材育成に取り組む事業主への支援等について周知啓発を実施しました。

勤労者世帯の方を対象に「知って役立つ労働、福祉、年金セミナー」を開催し、雇用保険、介護保険、厚生年金・国民年金等の基礎的なことについての講義を行うとともに、ハローワーク利用のメリットの周知を行うことで、利用者の掘り起こしを図りました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求人検索のみに止まる者に対し、窓口相談への誘導方法を検討し、求職者の取り込み拡大を図ります。

求職者掘り起こしのため、公民館等管内の公共施設に対して、ハローワーク島田への誘導チラシを配架する予定です。

（4）その他業務運営についての分析等

新規求職者は減少傾向にあり、更に紹介件数は大幅に減少していますが、紹介成功率は高水準となっており、複数紹介を希望するより十分検討の上絞り込んだ求人に応募する人が増加しています。

求職者担当者制については、平成27年度の実績で対象者233人、就職件数151件、就職率64.8%と支援の効果は上がってきています。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

雇用保険受給者を含む求職者担当者制を取り入れ、能動的マッチングを積極的に行うことで、雇用保険受給者の早期再就職件数や、紹介成功率の向上につなげることができました。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	求人充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	生活保護受給者 等の就職件数	学卒ジョブサポーター の支援による正社員 就職件数	正社員求人数	高齢者総合支援 窓口でのチーム支援を受けた 者の就職率
実績	2,847件	2,427件	1,032件	96.7%	95.8%	28.2%	63件	319件	5,232人	73.9%
目標	2,970件	2,390件	910件	90%以上	90%以上	24.1%	38件	280件	4,988人	65.0%
目標達成率	96%	101%	113%	—	—	117%	166%	114%	105%	114%
(参考)過去3年度平均	3,060件	2,523件	898件							

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク沼津 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、新規求職者の減少が大きいことから、雇用保険認定来所者及び求人検索来所者を対象とした窓口職員による声掛け等誘導強化を実施しました。特に、雇用保険認定日における職業相談については、求職者ニーズの把握と再就職手当シュミレーションの活用を含む早期再就職のメリットについて説明を行うとともに、積極的な求人情報の提供を実施しました。

それにより、認定日における職業紹介実施率は平成26年度の約6割から7割近くまで上昇しましたが、早期再就職件数にまでは、反映することができませんでした。引き続き、職員研修を実施し、相談技法を向上させ、早期再就職件数の増加を目指します。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

総合受付の強化を行いました。従来は約10名強の相談員が交代で受付業務を行っていましたが、習熟度の維持に困難が見られたため、来所される方々に対するより良いサービスを提供するため、受付業務を専任とする者2名を定め、1名は必ず受付業務の担当となるよう交代体制を組んで対応することとしました。これにより、総合受付における来所者の滞留等がなくなり、円滑に業務を行う体制が確保されました。

また、求職者の減少に伴い、紹介部門の昼当番を6人制から5人制に縮小し、通常時間帯の相談窓口体制の強化を図りました。

雇用保険受給者については、特に、退職後早い時期からの就職活動が重要なため、給付制限中の受給者に対する初回認定時間を午前から午後へ変更し、職業相談の時間が一定程度確保できるようにしました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

正社員就職件数を高めるため、雇用保険受給者及び若年求職者に対する就労支援強化が必要なことから

- ① 雇用保険給付制限中の者に対する認定日相当の来所指示、来所時を活用した積極的な相談の実施。
- ② 緊要度の高い者の的確な把握と中身のある職業相談。（※アンケートに頼らない認定申告書に記載された職業相談記録を活用した緊要度把握。）
- ③ 求人充足会議の根本的見直しと中身のある実行。（最終目的は、求人者に対する適切な労働力供給）・基準見直しと着実な実施。

相談件数・紹介件数が減少していることから、求人検索来所者に対する効果的な窓口誘導の方策として、

- ① 来所者が相談しやすい体制を確保し、求人検索機に近い相談窓口には原則として空席を作らない。
- ② 求人検索機を見終わった後、求人票を印刷した者に対しては「応募状況を見てもみませんか？」と声掛けを確実に言い、相談窓口へ誘導する。
雇用保険受給者のうち自己就職者分析を行い、ハローワークが関与できる者に対しての確実なアプローチの実施。

(4) その他業務運営についての分析等

組織力の強化。⇒新規施策に対する確実な実行

- ① 統括官・課長が部門内を適切にマネジメントできる体制づくりを行う。
- ② 各職員・相談員の日常業務の棚卸の実施。
- ③ 日常業務のマニュアル作成(人事異動、相談員採用等による引継ぎ不足による業務能力低下防止)

求人数が増加する一方、求職者が減少している中、人手不足業種に人を向けるかが重要であり、そのため、庁舎内会議室を利用した事業所案内兼ミニ選考会の開催に力を入れることとします。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	求人 充足数 (受理地)	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者の就 職件数	障害者の就 職件数	学卒ジョブ サポーター の支援によ る正社員就 職件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の就 職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	介護・看 護・保育の 就職件数
実績	5,197件	5,440人	1,581件	94.4%	96.3%	20.4%	58件	290件	932件	86.6%	13,626人	2,665件	650件
目標	5,700件	5,950人	1,730件	90.0%	90.0%	17.6%	115件	284件	920件	87.5%	12,562人	2,830件	720件
目標達成率	91%	91%	91%	—	—	116%	50%	102%	101%	99%	108%	94%	90%
(参考) 過去3年度平均	5,833件	5,970件	1,729件										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク掛川 就職支援業務報告（平成 27 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当ハローワークでは、就職件数及び充足件数の目標を達成することが最重要と考え、マッチング、求人充足会議、未充足フローアップ検討会及び窓口での求人提案などを行い、これらの取組による求職者への能動的な求人情報の提供や来所勧奨型相談等を行いました。その取扱実績については、開拓求人及び求人条件が緩和された求人（リフレッシュ求人）などを中心に郵送等により情報提供した件数が 1,518 件、情報提供した方の相談が 158 件、相談後の紹介件数が 191 件となっており、紹介就職 32 件となりました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

来所による窓口での相談件数や紹介件数が伸び悩んでいたため、これらの取組を求職者へ積極的に周知することとし、新規求職申込をされた方で早期就職を希望されている方には、「当ハローワークから適宜求人情報を提供（郵送による）する取組」をお知らせするリーフレットを新たに作成・配付しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

雇用保険受給者の方には、雇用保険説明会において早期再就職のメリットやデメリットを具体的に明示した資料を提供・説明し、早期の再就職が望ましいことを理解していただくとともに、その実現に向けた支援をハローワークが行っていることを説明する取り組みを強化していきます。併せて、在職中の求職者に対する求職活動の進め方についてアドバイスするためのチラシ導入を検討しています。

画像情報について、事業主向けチラシを導入して、外観だけでなく作業風景の掲載充実を図り、年間 88 社以上収集します。求職者が安心して求人に応募できるよう、公開端末トップページで案内して、活用促進を図ります。

（4）その他業務運営についての分析等

新規求人数が減少している中、介護・看護関係の正社員求人の減少が影響して正社員求人数は前年度実績を 8.8% 下回りましたが、求人開拓にあたっては、正社員求人を中心とした求職者のニーズに適合する求人を確保するよう努めることに注力しました。正社員求人の提出をお願いする「要請書」と求人の意向の有無等を確認するための「アンケート」を送付し、そのアンケートを基に事業所を訪問して求人開拓を実施した結果、22 件 39 人分の求人が確保できたため、28 年度もこの取り組みを継続していきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

管内地方自治体との連携により事業推進することは重要です。このため、掛川市とは、就労を希望する掛川市内の障害者を新規に500人（平成25年度から平成28年度末）就労させることを目指す「障がい者新規就労500人サポート事業」など、掛川市独自の障がい者就労推進事業を推進しているため、市と国が強力に連携を進めていくこと等を目的に障害者に特化した「障がい者雇用の推進に関する協定」を平成27年12月に締結し、障害者ミニ面接会の開催や就労支援・定着指導等を実施しており、平成27年度末までに延べ409人の就労が実現しています。また、菊川市の要請によるマザーズハローワーク事業として、菊川市の子育て中の求職者に対する就職支援を図ることを目的に、菊川市役所において「なでしこワーク（出張相談）」を平成27年11月より実施しており、平成27年度は来所件数94件、相談件数32件の利用実績となりました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	求人充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	生活保護受給者 等の就職件数	ハローワークの紹介により正規雇用 に結び付いたフリー ター等の件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	2,464件	2,368件	1,223件	98.4%	98.1%	24.0%	45件	459件	5,207人	1,267件
目標	2,505件	2,350件	860件	90%以上	90%以上	21.3%	38件	400件	5,853人	1,310件
目標達成率	98%	101%	142%	—	—	113%	118%	115%	89%	97%
(参考)過去3年度平均	2,585件	2,427件	941件							

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク磐田 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重点として進めることとし、求職票の記載の徹底や採否結果確認の徹底、就職支援セミナーへの誘導等による就職への意識付けの取り組みを行っています。

特に紹介率を上げるため、8月から職員・相談員全員による求職者担当者制を実施し、マッチングによる求人情報の提供や予約相談に力を入れました。担当者制の支援対象者は357人、就職件数230件、就職率64.4%となり、紹介率は133.6%（前年比2.46P増加）となりました。

10月からは、雇用保険受給者の緊要度の的確把握をするため初回認定日の初回職業相談時においてアンケート調査を行うことを始め、さらに12月から、その雇用保険受給者の希望条件に沿った求人を前もって検索をし、1件以上の求人を提案しサービスの充実を図る取り組みを開始したことにより、紹介件数は増加し始めました。

充足件数については件数の向上のため、平成27年10月より求人充足会議の見直しを行い、それと合わせて求人担当者制を導入することで未充足求人のフォローアップ件数、求人充足会議後に就職に結びついた件数が大幅に増加しました。

《求職票の記載状況》

再就職に向けては、特に「直近の勤務先」欄の離職理由の内容（なぜ退職に至ったのか、何が問題なのか）や「経験した主な仕事の内容」欄について、必要に応じて求職者に聴取し、加筆・修正を行う等の充実を図るよう取り組んでいます。

《採否結果確認の徹底状況》

採否確認については、全員で手分けして確認を行っていましたが、9月以降については、紹介した職員・相談員が自ら確認をすることとしました。自らの紹介の責任と求職者に対する紹介手法を考えた自己研鑽にもつながるものと考えています。

《就職支援セミナーへの誘導状況》

平成27年度の就職支援セミナーへの誘導については、59回開催し947人が受講しました。受講率は、対前年比で2.8P上回ることができました。

《正社員就職の促進》

正社員求人の確保については、求人開拓時に正社員雇用のメリット等パンフレットを使いながら説明しています。また、所長自らが事業主団体、地方自治体、大手事業所等へ訪問し、正社員求人確保の依頼等の取り組みを行っています。

正社員就職の促進については、未充足正社員求人のフォローアップを重点に求人充足会議の対象として充足に向けて取り組んでいきます。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

《求人充足会議選定求人について》

求人充足会議で選定した求人については、10月から紹介担当者が毎週1件ずつフォローアップ求人を持ち、積極的な充足サービスに努めています。年間を通じた取組状況については、10月の業務改善を境に比較してみると以下のとおりとなります。

- ・4月～9月(前期)求人件数42件、求人数66人、紹介件数37件、就職件数7件
- ・10月～3月(後期)求人件数282件、求人数368人、紹介件数378件、就職件数75件

《雇用保険受給者の早期再就職促進》

- ・雇用保険受給者の早期再就職件数を伸ばすために、初回講習の内容を一新し、就職意欲の喚起を促す取組みを2月から実施しました。
- ・雇用保険課において、職業紹介部門・求人専門援助部門の職員・相談員に対し「雇用保険就業促進給付研修会」と題して再就職手当、就業促進定着手当、専門実践教育訓練給付金について研修を実施し、一人ひとりが制度の理解・資質向上を図ることで職業紹介時における早期再就職促進に役立てることとしました。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

《雇用保険受給者に対する就職支援セミナーの受講勧奨》

雇用保険受給者に対する就職支援セミナーの受講率を伸ばすために、平成28年4月から55歳以上の求職者を対象としたセミナーを実施することにしていきます。

(4) その他業務運営についての分析等《一般求人》

積極的な求人開拓、求人開拓訪問時における求職情報の提供、求人受理時における仕事内容の見直し等の取組みにより、有効求人倍率は平成20年8月に1.01倍を記録して以来7年3か月ぶりに1倍を超えて1.03倍となり、12月から3月までの4か月間1倍を超えています。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

《外国人の状況》

平成27年度の紹介・就職等の状況は、新規求職者数822人(平成26年度597人・前年比37.7%増加)、紹介件数401件(平成26年度346件・前年比15.9%増加)、紹介就職件数63件(平成26年度49件・前年比28.6%増加)となりました。前年度に比べ求職者数・紹介件数・紹介就職件数は大幅に増加しました。

4 マッチング関係業務の成果

	就職件数	求人充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職者数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	生活保護受給者 等の就職件数	ハローワークの職 業紹介により、正 規雇用に結びつ いたフリーター等 の件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による 就職支援を受け た重点支援対象 者の就職率	正社員就職件数
実績	3,377件	3,180件	1,258件	97.5%	90.8%	21.7%	87件	667件	95.7%	1,718件
目標	3,600件	3,500件	1,370件	90%以上	90%以上	20.7%	76件	480件	87.5%	1,770件
目標達成率	94%	91%	92%	—	—	105%	114%	139%	109%	97%
(参考)過去3年度平均	3,613件	3,505件	1,462件							

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク富士 就職支援業務報告（平成 27 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

【就職件数の重視】

- ・「就職」は求職者の雇用の安定に、「求人充足」は事業所の経営の安定に繋がります。
- ・当所の求職者の多くは第1就職希望地を「富士市」としています。また、当所が受理する求人の約 85%は、「就業地」が「富士市」です。このため、「当所の就職件数と求人充足件数は大きな乖離はしない」と考え、「就職件数を1件でも増やすこと」を重点的に取り組みました。
- ・就職件数を増加させるためには、紹介件数を増加させる必要があります。紹介件数を増加させるには、求職者ニーズに適合する求人の確保が必要です。求人は増加傾向にありましたので、「求人と求職のマッチング」を効果的に行う必要がありました。一般求職者、雇用保険受給者に対して、職業相談の充実(就職可能な職種・希望条件の拡大、その上でのマッチングの実施など)を図ることにより、ひとりでも多くの方々を紹介に結びつける取組をしました。
- ・その取組の具体的な内容は次のとおりです。
 - 職業紹介部門ミーティングを毎週2～3回程度実施し、現在の就職件数等進捗状況の資料を配布の上、「求職者と面談を重ね、詳細な求職者ニーズを把握し、紹介に結びつける」ことが急務である旨、職員(相談員を含む。以下同じ。)への意識付けをしました。
 - 正社員就職を希望する求職者及び雇用保険受給者等の中で、特に、免許資格がない者、職業経験がない者に対しては、「資格・免許経験不問正社員求人」情報を職業相談時に配布し、応募を検討されるよう伝えました。
 - 雇用保険受給資格決定時の職業相談では、再就職手当制度の説明を行い、早期再就職のメリットを伝えました。また、自己都合退職等で給付がすぐにされない雇用保険受給者(給付制限が付く者)に対しては、「職業相談(求職活動)のご案内」を手交し、給付制限期間中も来所し職業相談(認定応当日相談)をされるよう伝えました。

【地方自治体との連携の推進・・・その先にある事業主との連携】

- ・「地方自治体との連携の推進」も重要と考えました。富士市及び富士商工会議所等事業主団体が主催する会合等には積極的に出席し、依頼・要請に応じて、講演や説明を行いました。その講演等の中で、事業主に対して正社員求人提出のお願いなどもさせていただきました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・「サービス改善」は、平成 27 年度新規に、事業主向けに「助成金説明会」及び求職者向けに「職業訓練説明会」を開催しました。
- ・「助成金説明会」は、有期雇用労働者の正規雇用化、事業所内での人材育成、業務評価の実施など、雇用管理改善に取り組む事業所向け説明会として開催しました。(H28.1～3月、計13社、17人出席。)
- ・「職業訓練説明会」は、雇用保険受給者説明会が長時間になっていることから、公的職業訓練の詳細を知りたい方は別の日に、職業訓練に特化した

説明会を開催することとしました。(H28.2～3月、計3回、10人出席。)

・また、当所に設置している利用者アンケートの中に、利用者の求人検索機使用後に、「椅子が出しっぱなし。」、「印刷した求人票がそのまま放置されている。」という意見がありました。その意見に率直に反省し、気が付いた職員・相談員が率先して、随時、椅子の整理、出力帳票の整理等を行うことにより、次の利用者の方が気持ち良く使っていただけるよう配慮しています。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

・当所は、地域に根ざしたハローワークとして、より一層、利用者(求人者、求職者等)に貢献したい考えです。このため、「働く希望のある人全員が働ける社会かつ働く希望の年齢まで働ける社会の実現の取組、新たに働く人は正規雇用での就職を、非正規雇用で働いている人は正規雇用への転換の取組、さらに、企業ニーズに応じた雇用管理改善、処遇改善等の支援への取組」をします。

・具体的には次の取組をします。(一例のみ表記)

○雇用の安定を図るため、正社員就職件数の増加に努めます。事業主が集まる会合等では所長自らが正社員求人の提出を訴求します。正社員を希望する求職者、雇用保険受給者等に対しては、来所相談時、失業認定日等を活用して、その方に適合する職種、条件等を検索して求人情報を提供します。

○事業主向け「助成金説明会」、求職者向け「職業訓練説明会」を引き続き開催します。これらの開催により、事業所には各種助成金の活用による非正規雇用労働者の正規雇用化を推進します。免許・資格がない求職者には、職業訓練の受講により免許・資格を保有するなどの結果、応募可能求人範囲が拡大できるよう支援します。

(4) その他業務運営についての分析等

・現下の売り手市場において、求人者からハローワークに対し、求人充足相談が度々あります。当該求人者の求人票記載内容を確認すると、求職者に十分伝わらない記載が見受けられます。この場合、ハローワーク職員が当該事業所を訪問し、事業主からのヒアリングと事業所見学を行い、求人票の不備な点、改善すべき点を提案します。

・修正後の求人票でマッチング、紹介を行うほか、大量求人(30人以上)の場合には、求人情報誌「グッドジョブ」、「ネットジョブ」に別枠での掲載を行います。この実施は、地域の雇用問題の解決に資することとなるほか、職員のマッチングの質の向上、紹介技能等の職員の資質向上にも繋がると考えます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	生活保護受給 者等の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	正社員 求人数	介護・看護・保 育分野の 就職件数
実績	3,248件	3,119件	1,197件	95.7%	96.2%	22.2%	54件	168件	216件	7,825人	347件
目標	3,300件	3,180件	1,190件	90%以上	90%以上	18.5%	38件	140件	200件	8,229人	395件
目標達成率	98%	98%	101%	—	—	120%	142%	120%	108%	95%	88%
(参考)過去3年度平均	3,447件	3,381件	1,161件								

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク下田 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数・充足数・雇用保険受給者の早期就職件数の目標達成を最重要課題と考え、求人充足会議、求人担当者制によるマッチング及び求人情報の提供を特に重点的に取り組むこととしました。

求人充足会議は毎週1回開催し、計118件の求人を選定し、ナビゲーター及び相談員による求人担当者制により、積極的なマッチングを実施し、郵送等による求人情報の提供を401人に行い、選定求人の充足数は65人となりました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人者がスムーズに求人の申し込みができるように、「求人受付コーナー」として求人者の待合場所と求人申込書記入台と求人窓口を一つにまとめ、相談体制を整えました。

事務所内に「ご意見箱」場所を記した案内を掲示する等、「ご意見箱」が目につきやすいように工夫しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

当所管内求人は宿泊業等サービス関連が多く、土日祝日が休める事業所は少なく、逆に求職者のニーズは土日祝日が休める事業所、職種では事務職を希望する者が多いことから、サービス関連のミニ面接会等開催しても、参加者（求職者）が極端に少ない状況でしたが、求人者からのミニ面接会等のニーズには引き続き応えていきます。また、ハローワークを利用するには地域的に困難な者も多く、ハローワークの方で積極的にマッチングを行い、郵送・電話等による求人情報の提供及び呼び出し紹介・職業相談等を引き続き行っていきます。

（4）その他業務運営についての分析等

また、下田管轄は広く、松崎町・西伊豆町は交通の便が悪く、自家用車での通勤が出来ないと就職が難しい地域となっています。

所長は各役場・商工会等を定期的に訪問し、求人関連の情報収集を行うとともに、求人情報・ハローワークガイド等によりハローワークの利用促進をお願いしています。

職員・求人者支援員による事業所訪問と事業所の画像収集も積極的に実施しており、求人票に書かれてある以外の情報を求職者に伝えられるよう努めています。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	求人充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職者数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	ハローワークの職業 紹介により、正規雇 用に結びついたフリ ーター等の件数	正社員求人数	介護・看護・保育分 野の就職件数
実績	1,005件	966件	245件	100.0%	95.3%	36.5%	124件	2,390人	140件
目標	1,145件	1,090件	230件	90%以上	90%以上	35.0%	200件	2,306人	118件
目標達成率	88%	89%	107%	—	—	104%	62%	104%	119%
(参考)過去3年度平均	1,207件	1,152件	240件						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク焼津 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では就職件数・充足件数・正社員求人数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし適正なマッチングのための求職者担当者制による職業相談や求人充足会議の実施などを積極的に取り組みました。

特に、求職者担当者制は139人を対象者として80人が就職、就職率57.6%、求人充足会議は年51回開催し、239人の求人数に対し92人が充足、充足率38.5%となりました。さらに、正社員求人の拡大・正社員への転換実現を商工会議所等の4団体と水産関係4団体に対し傘下の組合企業に労働環境の整備など雇用改善を進めるよう要請しました。

当所の特徴としては求職者が前年度より増加したことから、丁寧な相談の中でも迅速・基本業務を意識した取組を行いました。また、大量離職に伴う就職面接会や工業団地組合での就職面接会を開催しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

職業訓練の説明・相談については、ハローワークプラザ藤枝において月1回出張相談を新たに実施することにより、利用者の利便性の向上に努めました。

また、窓口が大変込み合う日もあり、待ち時間が長いなどの意見があったため、研修等の実施により他部門との応援体制を図り、待ち時間の解消に努めるとともに、丁寧な対応の中でも迅速に対応するように心がけた結果、比較的待ち時間も例年より解消されました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

福祉関係事業所のミニ面接会は91回開催し、開催回数は目標数を大幅に上回りましたが、参加者数及び就職者数が低調であったため、周知方法を検討するほか、他ハローワークへ参加者の呼びかけを依頼するなど、改善を図ることとしています。

また、求職者担当者制は就職率が高いため対象者数を拡大し個別マッチングを促進するとともに、雇用保険受給者に対する職業相談の充実や応募書類の作成指導・就職者支援セミナー等への誘導により、求職者との信頼関係を築き紹介件数・就職件数の増加を図って参ります。

（4）その他業務運営についての分析等

当所管内の主要産業である水産業、水産加工業は小規模事業所も多く、賃金形態や繁閑散の問題など、正社員求人が望めない状況にあり、有効求人倍率は1年を通じ1倍を下回って推移しました。今後もこの状態が続くことが予想されるため、引き続き正社員等の求人確保に重点を置いた取組を行うとともに量的確保を併せて取組み、就職件数及び充足件数の目標達成に向け取組んで参ります。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	生活保護受給者 等の就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ- ーターの支援による 正社員就職件数	正社員 求人数
実績	3,551件	3,217件	1,350件	95.9%	97.9%	23.2%	78件	156件	241件	6,296人
目標	3,700件	3,450件	1,430件	90%以上	90%以上	19.7%	38件	153件	190件	6,635人
目標達成率	96%	93%	94%	—	—	118%	205%	102%	127%	95%
(参考)過去3年度平均	3,830件	3,563件	1,508件							

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率